

# 桐生市の教育

## ⑩サイエンスドクター事業

サイエンスドクター事業は、中学生の理科の学力向上や理科教員の授業力向上、将来の地域産業を支える人材の育成などを目的に、平成25年度から実施しています。

今年度は群馬大学理工学部の大学院生14人が「サイエンスドクター」として活動しています。

今回はサイエンスドクターの主な活動内容を紹介します。問い合わせは、学校教育課（☎内線688）へ。

### 中学校への派遣



中学校でのサイエンスドクター

中学校にサイエンスドクターが出向き、理科の観察・実験の進め方の助言や教材開発

の支援、自由研究の進め方、放課後理科クラブの指導などに携わっています。

その結果、生徒の興味や関心が高まり、自由研究作品の質が向上しています。また、中学校理科学習発表会では、サイエンスドクター委員会が優秀な研究発表を選び表彰して、生徒の励みとなっています。

### サイエンスフェスタ

群馬大学桐生キャンパスを会場に実施しています。夏休みに理科に関心のある中学生を集め、サイエンスドクターが講師となって、専門性を生かしたポスターセッションや実験・体験活動を行っています。

ポスターセッションでは、サイエンスドクターが大学院での研究内容を中学生にも分かるように工夫して伝え、質問に答えながら進めています。また、実験・体験活動では、大学の専門的な実験器具を使用し、普段の理科授業で体験できない実験・観察を行っています。

最先端の科学に触れることで、群馬大学を身近に感じることができ、有意義だったと生徒からも好評です。



サイエンスフェスタの様子

### 幼児プログラミング体験

サイエンスドクターが講師となり、今年度から実施している幼児（年長児）を対象としたプログラミング教育の基礎となる体験活動です。

平成32年度から小学校でプログラミング教育が実施されることを見据えた体験活動で、ロボットの簡単な動作を観察し、ブロックの並び替えによるロボットの動きの変化を体験しながら学習します。

幼児は、サイエンスドクターの丁寧な指導の下、試行錯誤しながら、ロボットを動かすための命令を真剣に考え、ロボットに親しみながら楽しそうに学んでいました。

### 今月の表紙

12月9日（日）、青年の家で「お正月しめ縄リース作り講座」が開催されました。講師の説明やアドバイスを受け、準備された材料を工夫しながら使い、それぞれ自分らしさを表現した華やかなしめ縄リースが出来上がりました。

### 人口と世帯

（11月30日現在）

人口	112,203人（-107人）
男	54,073人（-48人）
女	58,130人（-59人）
世帯	49,940世帯（-29世帯）

（ ）内は前月比

### 今月の納税

市民税・県民税…第4期  
国民健康保険税…第7期

1月31日（木）が納期限です

コンビニエンスストアや銀行などのペイジー対応ATMからも納付可能です。口座振替を利用している人は、預貯金残高のご確認をお願いします。

広告